

令和5年度 第一回 運営推進会議

議事録

小規模多機能施設 ゆい青葉
グループホーム ゆい青葉

日時：令和5年5月16日（火）16時00分～17時00分
場所：オンライン開催

1. 開会の挨拶

新規ご出席者ご紹介

2. 小規模多機能施設 ゆい青葉

<活動状況報告> 添付資料参照

【今年度の運営方針について】

事業所の目標

- 事業所の理念：その人らしく生きる ～その一瞬を大切に～
- 今年度目標：
（令和4年度まで） あなたの「したい」を「かなえる」ための体制をつくる



（令和5年度） **あなたと「一緒」に「したい」を「かなえる」ために行動しよう**

目標に向けた具体的取組

（1）事業所理念の「周知」から「実践」へ！

「その人らしく」という理念をより実践可能なものと意識する3年間を経て、今年度はより具体的に行動する年とする

◎3年間の取り組み

- ・管理者ミーティング、リーダーミーティング、各事業所ミーティングでの理念の共有
- ・新任者研修での理念の共有
- ・理念を基にした、行動指針の策定
「できる方法を考える」「共に支え合う」「常に笑顔でいる」
- ・現任者のスキルアップのための1対1研修の実施

（2）【あなたと「一緒」に「したい」を「かなえる」ために行動しよう】プロジェクト

プロジェクトを3つの「目線」で考える。（地域の一員・ご利用者・スタッフ）

1. **地域の一員として施設の役割を「かなえる」**
2. **ご利用者様の「したい」を「かなえる」**
3. **上記1&2を「かなえる」ことでスタッフの成功体験を「かなえる」**

1. 地域の一員として施設の役割を「かなえる」

私たちの施設は、ご利用者様が地域で生活を継続するための「地域密着型サービス」を提供する事業所。

地域の中のご利用者様、地域の中の施設として、新型コロナウイルス感染症の影響で、今までできなかったことを少しずつ「かなえる」。

⇒新型コロナのため中止していた「夏祭り」の復活や、「市ヶ尾中学校訪問（認知症についての講義）」継続など、地域の一員としての役割をかなえる。

2. ご利用者様の「したい」を「かなえる」

あなた（ご利用者様）の「したい」は特別なことではなく、生活の中で私たちが関わっている状況でも「かなえる」ことができる。

利用者様との距離を縮めて、小さなことから始めていこう。

⇒ご本人やご家族から「したい」ことを聞き取る。

例えば・・・

★音楽が好き⇒演奏会を行っている喫茶店などに同行

★買物が好き⇒ショッピングセンターへ一緒にお買い物

★生活の中で「〇〇ができるようになりたい」⇒できる方法を考え一緒にやってみる。お互いにできる範囲内で無理のない「したい」をかなえるお手伝いをする。

3. スタッフの成功体験を「かなえる」

ご利用者様の成功体験は、自分自身の成功体験となり働く意欲にもなる。

⇒ご利用者様の「したい」を「一緒」にかなえられた経験は、スタッフにとっても何物にも代えがたい糧となり働く意欲につながる。

(3) 具体的取り組み

◎法人全体としての取り組み

プロジェクトを実現するための基礎としてスタッフの「知識」や「技術」の向上

- ・現任者のスキルアップのための1対1研修の継続
- ・スタッフ一人ひとりの課題に向き合うため、1on1ミーティング導入検討
- ・スタッフオンライン研修 eラーニングの受講率100%を達成
- ・社内の「介護事故防止委員会」や「虐待防止委員会」による研修の実施

◎事業所ごとの取り組み

【事業所のしつらえ・環境】

日々の生活の中で「したい」を「かなえる」ために、ご利用者様の目線で環境を見直し、ご利用者様にとって快適で安全な居住空間を提供する。

また、日々の生活が楽しいと感じていただけるような工夫をしていく。

【事業所と地域のかかわり】

ご利用者様の「したい」を「かなえる」ために、関係機関と連携しながら地域との交流を再開し、地域への外出の機会を増やせるようにしていく。

地域の防災活動にも参加していく。

【業務・職員について】

事業所ごとに具体的な課題に対しての取り組みを行う。

【小規模多機能施設 ゆい青葉】

事業所の目標	事業所の理念： その人らしく生きる～その一瞬を大切に～ 今年度目標： あなたと「一緒」に「したい」を「かなえる」ために行動しよう
目標に向けた 具体的取組	【事業所のしつらえ・環境】 ・施設外周の緑地化計画 【事業所と地域のかかわり】 ・外出の機会を設ける ・地域と関わる機会を設ける （例：自治会の防災訓練にご利用者様と参加） 【業務・職員について】 ・職員間の連携強化 ・新規入居者に関する初期支援時の重点的なミーティングの実施

《地域包括》

ご利用者の「したい」を「かなえる」という気持ちが伝わってきた。
利用者様同士の「したい」がマッチしたら色々な方向でお互いの支え合いにも繋がると思う。

3. グループホーム ゆい青葉

<活動状況報告>

添付資料参照

【今年度の運営方針について】

小規模と同内容省略

【グループホーム ゆい 青葉】

事業所の目標	事業所の理念： その人らしく生きる～その一瞬を大切に～ 今年度目標： あなたと「一緒」に「したい」を「かなえる」ために行動しよう
目標に向けた 具体的取組	【事業所のしつらえ・環境】 ・施設外周の緑地化計画 【事業所と地域のかかわり】 ・外出の機会を設ける ・地域と関わる機会を設ける （例：自治会の防災訓練にご利用者様と参加） 【業務・職員について】 ・認知症ケアの知識・技術の向上 ・職員間の連携強化

<グループホームでの過ごし方>

添付資料参照

《地区社協》

（コロナが明けて）地域にやっと出てこれるようになった。
外に出ることはとても大事。グループホームご利用者の笑顔の写真がとてもよかった。
地区社協でも荏田のコミュニティハウスで毎月サロンを開催中。（毎月第一月曜日 10時）
8月に草履作りを開催予定。ゆいの皆さんにぜひ参加してほしい。

《介護者サポート代表》

今日の発表は職員さんの楽しそうな雰囲気が伝わってきた。
イベントでの利用者さんの写真を見ているだけで笑顔になってしまう。

4. 質疑応答

《介護者サポート代表》

今年度の具体的取組「1対1研修」や「1on1ミーティング」について詳しく教えてほしい。

⇒【1対1研修】1コマ(約1時間)×3回で実施。基本から専門的な内容までスタッフのレベルに応じてシフト時間内に実施。次回の研修までにまとめや質問などの課題を与える。

⇒【1on1ミーティング】各部署の管理者がスタッフと個別に面談する時間を月2回取りお互いに話し合える時間を取る。

《医師》

ゆいの施設は評判が良く、入りたいという声をよく聞く。規模を拡大する予定はないのか？

⇒いつも空いていないように思われているが、実際は入れ替わりの動きもよくある。
ご連絡いただければ可能な限り対応していきたい。

5. 総括

《地域包括》

初参加だったが施設内の利用者の状況がよくわかり良かった。

《ゆい青葉居宅 管理者》

皆さまに支えられながらサービスを行えていることを改めて実感し心強く思う。
開かれた関係性の中で互いに支え合い相談しやすい環境になっていると思う。

6. 閉会の挨拶

【次回開催予定】

＜介護・医療連携推進会議＞

令和5年8月22日(火) 16時00分～(予定) (開催方法:未定)